

# 神のおとずれ

日本聖公会 神戸教区報



2018年  
3月号

発行所  
神戸教区事務所  
TEL 078(351)5469  
FAX 078(382)1095  
<http://www.nskk.org/kobe/>

発行責任者  
司祭 小南 晃

印刷所  
文明堂印刷所

## 新しい一歩

執事 テモテ 遠藤 洋介



イエスは言われた。「近くのほかの町や村へ行こう。そこでも、わたしは宣教する。そのためにわたしは出て来たのである。」

マルコによる  
福音書1章38節

2018年4月から広島復活教会から神戸聖ミカエル教会へ転勤となります。最初の勤務地である広島復

活教会を離れることに不安もありますが、それ以上に新しい勤務地への期待と楽しみで溢れています。新しい事を起こす時、何か変化がある時、慣れた環境が変わる時、私たちはその新しい一歩を踏み出すために決意が必要です。

大切な場所とされました。しかし、救い主の到来を待ち望んでいる他の地域、まだ見ぬ多くの人々を思い、慣れ親しんだカファルナウムから出て、新たな宣教の地を目指して歩み始められたのです。

私は自分の事をイエス様のような、救い主であるとか待望されているなどとは思っておりませんが、神様からお招きいただいたことに感謝を覚え、希望を持って新たな一歩を踏み出していけたらと思います。

### 新鮮な魚と新鮮でない魚

魚は新鮮であるべきものだ、というのは誰にとっても常識だと思います。しかし、サバなどの青魚を除いて、ほとんどの魚は釣りたてよりも数日寝かせて食べるほうが美味しいと言われています。数年前から「熟成肉」がブームとなつていますが、魚も同じように熟成させることで、一確かに色などの変化もありますが一旨味も増すのです。新鮮な魚も確かに美味しいですが、新鮮でない魚もまた違った美味しさがあるのです。変化することを怖がらず、むしろそれぞれの良さに気付き、その変化を楽しむこともまた大切なことなのです。

誰でも慣れた場所を離れることや環境が変化していくことは躊躇するものです。しかしそれ以上に、その新しいことの先に希望と喜びがあることも覚えなければいけません。色々不安は尽きませんが、暗がりの先に灯る漁火のように、光り輝く希望はその先に神様によって確かに備えられているのです。

### 置かれた場所で咲きなさい

一昨年、天に召された渡辺和子修女様が著された本の題名にもなっている有名な言葉ですが、周りがどう変化しても、遣わされる環境がどう変化しても、自身が変わるわけではありません。その時に自分が置かれた場所でのできるように花を咲かせることができるかが重要なのではないでしようか。ひまわりの種は土を変えても、肥料を変えてもバラやアサガオにはなりません。ひまわりはひまわりのままで置かれた場所できれいな花を咲かせます。無理して他のものになろうとすれば、却って自分を見失ってしまうのです。

大斎節のこの時期は、自身の生活を振り返るとともに、信仰や神様との関係をもう一度見つめ直す、とても大切なときです。罪に気付き、悔い改めることもまた必要ですが、同時に神様が自分をどのように遣わし、用いてくださるうとしていくかを考え、いつ声をかけられても応えることができようように心の備えをすることもまたこの大斎節の大切な過ごし方なのではないでしょうか。

(広島復活教会牧師補)